

## ご質問

お名前 堀内トミオ

問1 あなたが最も解決する必要があると考える庄原の課題は何ですか。

庄原市の最大の課題は、「様々な資源（ポテンシャル）を活かしきれていない」ということです。これは、モノの面でも、人の面でも言えることです。
庄原市には、豊かな自然環境、歴史ある文化、比婆牛をはじめとする誇るべき地域資源があります。しかし、それらを十分に活かした産業が生まれておらず、雇用の場も限られています。特に、若者が挑戦できる環境が整っておらず、多くが都市部へ流出してしまっているのが現状です。
また、人材の面でも、地域には素晴らしい技術や知識を持った方々が多くいるにもかかわらず、それが次世代に継承されにくい状況にあります。これは教育の在り方にも関わる問題であり、庄原市の子どもたちが地元の魅力を知り、将来ここで生きていく選択肢を持てるような仕組みを整えることが重要だと考えています。

問2 上記問1で答えた課題の解決に向けてどの様に取り組んでいきますか。

庄原市の資源を活かしきるためには、「地域内の可能性を引き出しつつ、市外の企業や人材と連携すること」が必要です。
具体的には、農業を中心に新たな産業を生み出し、市外の企業や大学と協力して、先進的な技術やマーケットの視点を取り入れます。例えば、スマート農業や地域資源を活かした加工品の開発、観光や教育と結びついた体験型ビジネスの創出など、地域内に新しい仕事を生み出す仕組みをつくります。
また、人材の育成という観点では、地元の高校・大学と連携し、実践的な教育プログラムを整備します。地域の企業や農家と協力しながら、現場で学ぶ機会を増やし、卒業後にそのまま地元で活躍できる道筋を作ります。さらに、庄原市を「若者が挑戦できる町」にするために、起業支援や副業の促進、地域内のマッチングの場を設けるなど、多様な働き方を実現する制度づくりも進めていきます。

問3 なぜ、市議会議員を志されたのかを教えてください。

私は6年間学校教育に携わり、「庄原市だからこそできる教育を実現したい」と強く感じてきました。庄原市には小学校から大学までの教育機関が揃っています。この強みを活かし、一貫した教育を整備すれば、地域の魅力を学びながら、自らの未来を切り拓ける子どもたちを育てられます。また、教育は学校で終わるものではなく、卒業後の学習支援や地域とのつながりを持ち続ける仕組みも必要です。
私は、庄原市を「ただ住む場所」ではなく、「新たな発見や挑戦に満ちた町」にしたいと考えています。農業、ものづくり、芸術など、地域資源を活かし、ワクワクする仕事や学びの場がある町です。思うだけでなく、実現するには、市政に関わるべきだと決心しました。
「ここで暮らしたい」「ここで働きたい」と思える、おもしろい庄原市を実現するため、皆さんとともに挑戦を続けます。